

十九人が見た、一つの夢。
中医学が日本に根づく夢。



一九九九年初夏、朝日新聞紙上で
お伝えした私達のメッセージです。

朝日新聞 1999年5月19日朝刊

始まりは一人。

いま十九人の中醫師が

日本中を、飛び回っています。

一九八四年十二月一〇日、一人の
中醫師（中医学の専門医）がイ
スクラ産業に入社しました。

彼の名は李雲祥。

中醫師の家系の十四代目。中国
蘭州の病院に勤務していました。

彼の夢は、中国伝統医学の結晶で
ある「中医学」と、「中医学理論」
から生まれた「中成薬」を、日本

に根づかせることでした。「日本

の漢方理論と中国の中医学が大き
く異なる」と気付いた時、中成薬（ハ

ード）を普及させるには、何より
中医学（ソフト）が必要だと考え

たイスクラ産業の夢と、一致した

のです。

人間は一人一人の体質が異なり、そ

れによって症状も違うため、薬も
患者の数だけ必要だという考え方

が、中医学にあります。患者の症
状を全体的に分析し、中成薬を選

び、正しく服用してもらうために

は、どうしても薬局・薬店の人達
に、中医学をきちんと教える先

生が必要になったのです。

李さんの活躍のニュースが伝わる

と、中医学の啓蒙に情熱を燃やす
中醫師が、イスクラ産業に集まっ
てきました。

日本語を学び、日本語で中医学を
教えるという 使命に燃える先生た
ち。先生が熱心なら、勉強する薬局・
薬店の人達も熱心でした。

こうして教える中醫師は十九人に増
え、きちんと中医学を学んだ人は、

全国でおよそ二千人、薬局・薬店
数は一千店に達しました。

これらのお店が日本中医学研究会
を組織したのです。

中医学では、患者の症状に必要な
中成薬を選びだしてきちんと治療す

ることは勿論ですが、さらに中医学
の特長として強調したいことは、ま

だ病気として現れない「未病」の段
階でいろいろな兆候から病気の発生

を察知し、予防するための手段をも
っていることです。

中医学に精通した中醫師と一千店の
薬局・薬店が一致して注目する中国

の薬があります。

どのように優れた効果があり、どん
な時に使われる薬か。ぜひお近くの
お店をお訪ねください。

誰もやらないなら、自分たちでやる。

それが「中成薬」のイスクラと「日
本中医学研究会」です。